

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 5日から6日にかけて、低気圧が本州南岸付近から日本の東へ進む。
- 7日から8日にかけて、低気圧がアムール川中流付近からオホーツク海に進む。前線が日本付近を南下する。
- 9日は、高気圧が日本海を移動する。

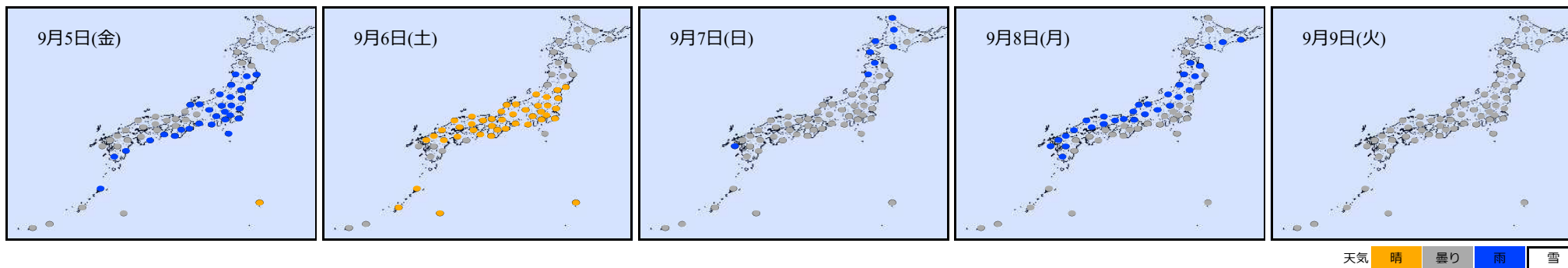
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 東日本と西日本、沖縄・奄美では気温がかなり高くなり、最高気温が35度以上となる所がある。熱中症など健康管理に注意

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

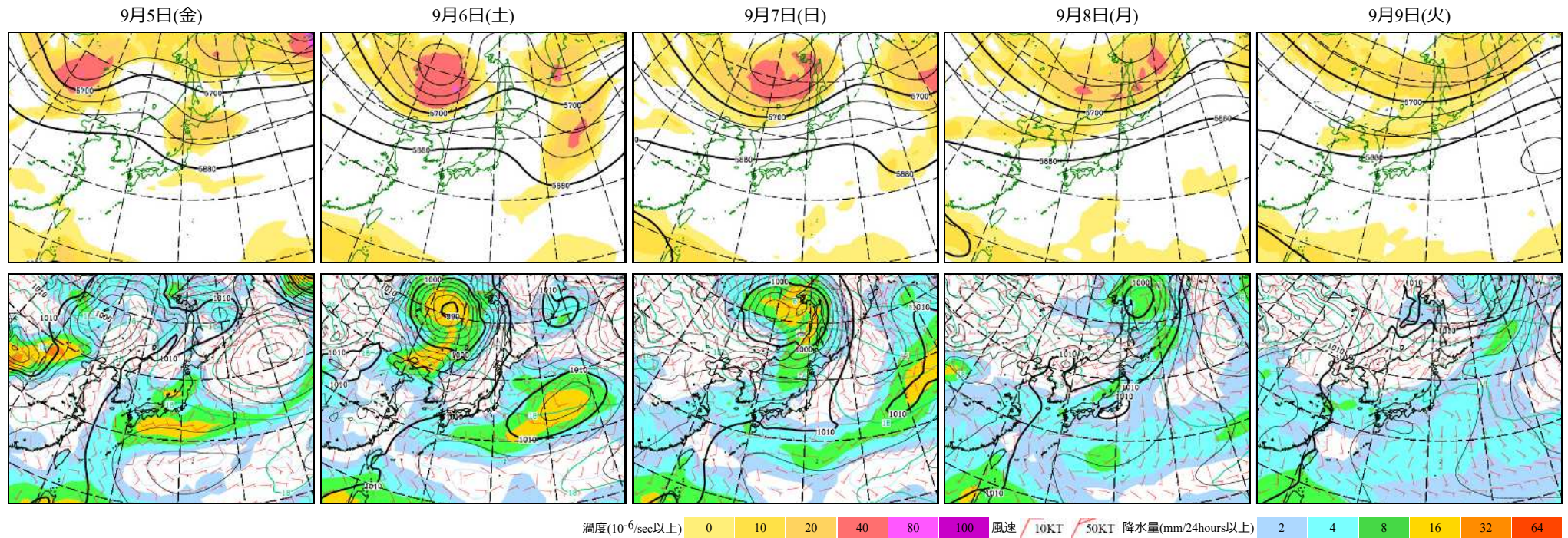
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

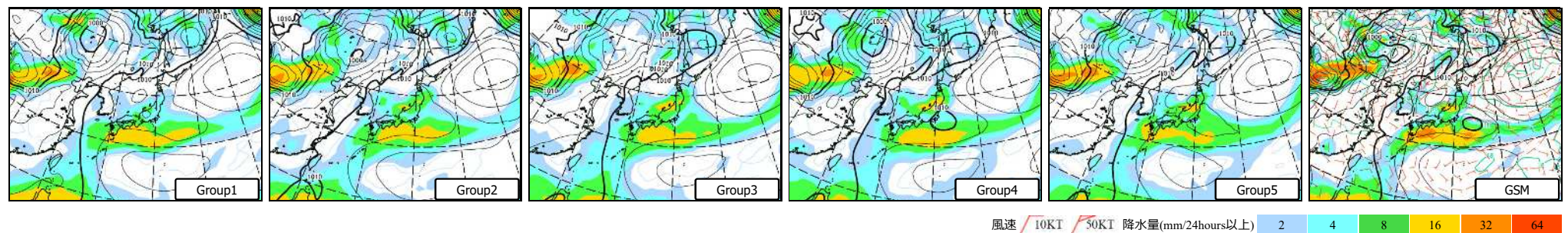


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 東日本と西日本は、雲が広がりやすく雨の降る所があるが、6日は晴れる所が多い。
- 沖縄・奄美は、晴れる所もあるが、雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆9月5日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはない。6日の日本の東のトラフは進みがやや遅くなった。7日から8日に中国東北区を進むトラフはやや深くなった。地上の気圧配置の予想も大きな初期値変わりはない。
- 日本モデルとECMは初期値変わりは小さいが、5日に東日本太平洋側を進む低気圧の予想は、引き続きモデル間の差が大きい。海外モデルは低気圧が発達する予想をしているが、ENSには同様の予想をするメンバーはない。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。